



知的障害児・者の余暇支援における保護者のニーズ： 北海道H市を中心としたアンケートを通して

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: Japanese 出版者: 公開日: 2016-03-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鈴木, 洸平, 細谷, 一博 メールアドレス: 所属: |
| URL | https://doi.org/10.32150/00006401 |

知的障害児・者の余暇支援における保護者のニーズ

—北海道H市を中心としたアンケートを通して—

鈴木 洸平・細谷 一博*

北海道教育大学大学院教育学研究科

*北海道教育大学函館校 障害児臨床研究室

A Study of the Parents' Needs of Leisure-Time Support for Children and Adults with Intellectual Disabilities

SUZUKI Kohei and HOSOYA Kazuhiro*

Graduate School of Education, Hakodate Campus, Hokkaido University of Education

*Department of Special Education, Hakodate Campus, Hokkaido University of Education

概 要

近年、知的障害児・者の余暇保障についての重要性が高まってきているが、余暇生活の実態としては活動がマスメディア中心になりがちであり、保護者の負担が大きい現状がある。

本研究は、知的障害児・者の保護者を対象に余暇支援のニーズを調査することで、今後の余暇支援における課題を検討することを目的とした。その結果、保護者のニーズでは、スポーツ活動の希望、福祉関係の施設での活動の希望、ガイドヘルパー・ボランティアとの活動の希望が多く見られた。また、地域の人や友人との交流が乏しいことや保護者が将来への不安を抱えている現状が明らかとなった。このことから、スポーツを通じた余暇活動を充実させていくことや地域との交流を増やし地域の中で活動の基盤を整えていくこと、親がいなくなったときの人的資源の確保が必要であることが示唆された。

I 問題と目的

近年、障害者の余暇保障について、障害者基本法（2013）第三条一項、第二十二條や第2期北海道障がい者基本計画（2013）で、あらゆる分野への活動の確保や環境整備の取組について規定するなど、その重要性が高まってきている。Schalock,

R.L・岩崎（2000）はQOL（生活の質）の概念について、生活の基本的条件と、余暇活動、地域活動などの生活を豊かにする活動が含まれていると述べ、障害によって普通ならば得られる機会や状況の多くから排除される危険があると指摘している。さらに、発達障害白書（2001）では、余暇生活に関して「特別な支援」を保障することが必要

であると報告している。また、服部（2002）は、大学でのスポーツ・レクリエーションを中心とした余暇活動プログラムの成果を踏まえて、知的障害者にとっての余暇活動の意義と今後の余暇活動支援の方向性について考察し、余暇活動がその内容と取り組み次第で生きがいを見出し、知的障害者の社会参加や自立へのきっかけとなることを報告している。このように、知的障害者の余暇保障は重要であることがわかる。

しかし、知的障害児・者の余暇を保障する上で現状には様々な課題が指摘されている。於保（2004）は10代の知的障害児を対象に余暇活動の実態調査を行い、知的障害児の余暇活動の困っていることとして「テレビ、ビデオ、ゲームばかりで困る」という回答が挙げられていると報告している。また、武蔵・高畑・平野・安達（1997）は、知的障害者の家庭生活について調査し、知的障害者の家族との過ごし方、一人での過ごし方ともに「テレビ」が8割を超える現状を明らかにしている。さらに、細谷（2007）は、知的障害児・者を対象に居住形態の違いによる余暇の過ごし方を調査し、「学生群」「社会人群」の双方で「テレビ」が最も多いことを明らかにしている。また、厚生労働省（2005）の「知的障害児（者）基礎調査結果の概要」では、知的障害児・者の地域活動への参加状況について「ほとんど参加しない」「参加したことはない」が半数を超えることを明らかにしている。以上のことから、知的障害児・者の余暇はマスメディア中心で選択肢が少なく、地域活動への参加率も低いことがわかる。

丸山（2004）は、重度知的障害者の余暇保障について課題を整理し、重度知的障害者に付き添う介護者は多くの場合、母親が担わなければならない、余暇支援も私的におこなうなど、母親の身体的・精神的負担が大きく、母親の就労が困難な現状があることを指摘している。さらに、津止・立田（2005）は、京都府における障害児の放課後生活について調査し、平日・休日・長期休暇とも障害児と一緒に過ごすことがよくある人は「母親」が圧倒的で、いずれの場合も80%を超えることを明

らかにしている。また、吉松（1997）は、自閉性障害児者の余暇実態について調査し、余暇の場を持っている自閉性障害児者の81.6%は同伴者に保護者がいることを明らかにしている。以上のことから、知的障害児・者の余暇生活には支援者の存在が必要であり、身近な支援者である家族の中でも母親が大きくかかわっていることがわかる。

さらに、長期休業中における知的障害児の余暇の過ごし方について、細谷（2011）は保護者を対象にアンケート調査を行い、全ての年齢群で「困っている」が多く見られることを明らかにしている。また、由谷・渡部（2007）は知的障害児の夏季休業中における余暇支援に関して保護者へニーズ調査を行い、「困っている」の回答が56.5%と半数以上であることを報告している。南出・海塚・渡部（1999）も健常児と障害児の余暇生活のあり方を比較し、障害児群の保護者は子どもの余暇にあまり満足していないことを明らかにしている。さらに、親の負担について、渡辺（1983）は精神遅滞者の余暇実態について調査し、子どもが就労することで余暇の過ごし方に改善が見られるものなのかを検討する必要があると述べている。以上のことから、知的障害のある子どもを持つ保護者が子どもの余暇について困っており、年齢別で保護者の負担の内容は変わってくることが予想される。

畠山・中村・久野（2012）は、特別支援学校小学部の児童を対象に、土曜日キッズサッカーの取組を実施し、効果的な指導を考える場合には、保護者も支援者や評価側に立ってもらうことが必要であると述べている。そこで保護者を対象に、余暇を保障する際の課題や余暇の実態を調査し、余暇支援における必要なニーズを明らかにすることは、知的障害児・者の余暇の充実及び保護者の負担軽減へ繋がると考えられる。本研究の目的は、知的障害児・者の余暇の現状と保護者の負担及び余暇支援におけるニーズを明らかにすることである。

II 方法

1. 調査対象

H大学附属特別支援学校（49名）とA養護学校小学部・中学部・高等部（140名）及びH大学附属特別支援学校OB（学校卒業後～20代）の保護者（89名）を対象とした。調査対象者の総数は278名であった。

2. 調査期間及び方法

2014年6月上旬～8月下旬とし、各学校の学級担任を通して質問紙を配布及び回収した。OB群については質問紙を直接郵送及び回収した。

3. 調査内容

調査項目は全28項目であり、①フェイスシート（5項目）、②余暇の現状に関する項目（16項目）、③保護者の負担に関する項目（3項目）、④余暇支援のニーズに関する項目（4項目）の4つに大きく分けた。

1) フェイスシート

子どもとの続柄、子どもの性別、障害程度（療育手帳を基に）、所属する群・学年を多肢選択法と記述式で回答を求めた。

2) 余暇の現状に関する質問

質問内容をTable 1に示す。

南出・海塚・渡部（1999）、細谷（2011）、鈴木（2005）の調査項目を基に質問紙を作成した。また、平日・休日・長期休暇の余暇の現状について、それぞれ多肢選択法と記述式で回答を求めた。満足度の回答については、「大変満足している」「満足している」「困っている」「大変困っている」と「(お子さん)とても楽しそうにしている」「(お子さん)楽しそうにしている」「(お子さん)つまらなそうにしている」「(お子さん)とてもつまらなそうにしている」の4件法でそれぞれ求めた。

3) 保護者負担に関する質問

質問内容をTable 2に示す。

稲浪・小椋・Rodgers・西（1994）が用いたQRS簡易型の中の精神的苦悩尺度・過保護/依存

尺度・将来への不安尺度・社会的孤立尺度を参考に作成し、多肢選択法で回答を求めた。

4) 余暇支援のニーズに関する質問

質問内容をTable 3に示す。

Table 1 余暇の現状に関する質問

| 質問No. | 質問内容 |
|-------|---|
| 1 | 平日や休日、長期休暇に何らかの余暇支援団体に参加していますか |
| 2 | 参加している団体についてご記入下さい（複数回答可） |
| 3 | お子さんに好きな活動(趣味)はありますか |
| 4 | 好きな活動(趣味)の内容を教えてください（複数回答可） |
| 5 | お子さんの放課後や勤務後(休日)(長期休暇)の過ごし方について、頻度の多いものを3つご記入下さい |
| 6 | 主に誰がお子さんの相手をしていますか（複数回答可） |
| 7 | お子さんが放課後や勤務後(休日)(長期休暇)に近所の人や友達と遊ぶことはありますか |
| 8 | お子さんの平日(休日)(長期休暇)の余暇について、回答者はどのように感じていますか また、お子さんはどのように感じていると思いますか |

Table 2 保護者負担に関する質問

| 質問No. | 質問内容 |
|-------|------------------------|
| 1 | 回答者の就業の有無について |
| 2 | 現在、養育をする上で負担を感じていますか |
| 3 | どのような負担を感じていますか(複数回答可) |

Table 3 余暇支援のニーズに関する質問

| 質問No. | 質問内容 |
|-------|--|
| 1 | 回答者が希望するお子さんの放課後や勤務後(休日)(長期休暇)の過ごし方について（複数回答可） 場所・過ごす相手・集団の規模・活動内容・援助 |
| 2 | 平日・休日・長期休暇の過ごし方に関して、感じていることや希望・要望がありましたら、ご自由にお書き下さい |

於保(2004)の「余暇活動について困っていること」を参考に、平日・休日・長期休暇のニーズに関する質問をそれぞれ作成し、多肢選択法と記述式で回答を求めた。

4. 分析方法

多肢選択法により求めた回答について単純集計をおこなった。また、記述式により求めた回答についてはkj法を用いて項目に分類し、単純集計をおこなった。

Ⅲ 結果

1. 回収状況

278名中144名から回答を得た。回収率は51.8%であった。調査によって得られた144名のうち、フェイスシートに無回答があったものを除いた有効回答数142名(51.2%)を使用して集計をおこなった。

2. フェイスシート

回答者は「父親」5名(3.5%)、「母親」135名(95.1%)、「祖父母」1名(0.7%)、「兄弟・姉妹」1名(0.7%)であった。また、子どもの性別は「男」102名(71.8%)、「女」40名(28.2%)であり、療育手帳の等級については「A」96名(67.6%)、「B」46名(32.4%)であった。さらに、子どもの年齢分布については「小学生群」43名(30.3%)、「中学生群」22名(15.5%)、「高校生群」43名(30.3%)、「OB群」34名(23.9%)であった。

3. 余暇の現状

1) 余暇支援団体への参加

余暇支援団体については「参加している」で、小学生群32名(74.4%)、中学生群13名(59.1%)、高校生群16名(37.2%)、OB群11名(32.4%)、「参加していない」で、小学生群11名(25.6%)、中学生群9名(40.9%)、高校生群27名(62.8%)、OB群23名(67.6%)であった。参加している中で、主な参加団体は「福祉関係」で、小学生群31名

(96.9%)、中学生群9名(40.9%)、高校生群12名(27.9%)、OB群5名(14.7%)、「ボランティアサークル」で、小学生群7名(21.9%)、中学生群7名(31.8%)、高校生群4名(9.3%)、OB群3名(8.8%)、「スポーツクラブ」で、小学生群0名(0.0%)、中学生群0名(0.0%)、高校生群4名(9.3%)、OB群4名(11.8%)であった。

2) 子どもの趣味

子どもの趣味については「ある」が、小学生群35名(81.4%)、中学生群20名(90.9%)、高校生群36名(83.7%)、OB群32名(94.1%)、「ない」が、小学生群8名(18.6%)、中学生群2名(9.1%)、高校生群7名(16.3%)、OB群2名(5.9%)であった。主な趣味の内容は、趣味が「ある」と回答した中で、「ゲーム」が、小学生群12名(34.3%)、中学生群7名(35.0%)、高校生群14名(38.9%)、OB群6名(18.8%)、次いで「DVD・ビデオ鑑賞」が、小学生群10名(28.6%)、中学生群8名(40.0%)、高校生群14名(38.9%)、OB群6名(18.8%)、「運動」が、小学生群12名(34.3%)、中学生群8名(40.0%)、高校生群8名(22.2%)、OB群8名(25.0%)であった。

3) 過ごし方(回答者全体における上位3件)

過ごし方の内容の全結果をTable 4に示す。

平日では「ゲーム」が、小学生群11名(25.6%)、中学生群9名(40.9%)、高校生群17名(39.5%)、OB群12名(35.3%)であり、「DVD・ビデオ鑑賞」が、小学生群15名(34.9%)、中学生群8名(36.4%)、高校生群14名(32.6%)、OB群12名(35.3%)であり、「テレビ」が、小学生群8名(18.6%)、中学生群7名(31.8%)、高校生群14名(32.6%)、OB群14名(41.2%)であった。また、休日では「外出」が、小学生群35名(81.4%)、中学生群16名(72.7%)、高校生群27名(62.8%)、OB群21名(61.8%)であり、「DVD・ビデオ鑑賞」で、小学生群20名(46.5%)、中学生群9名(40.9%)、高校生群14名(32.6%)、OB群11名(32.4%)であり、次いで「ゲーム」が、小学生群14名(32.6%)、中学生群9名(40.9%)、高校生群14名(32.6%)、OB群10名(29.4%)であった。さらに、長期休

Table 4 過ごし方

| | 平日 | | | | 休日 | | | | 長期休暇 | | | |
|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 小学生群 | 中学生群 | 高校生群 | OB群 | 小学生群 | 中学生群 | 高校生群 | OB群 | 小学生群 | 中学生群 | 高校生群 | OB群 |
| | (N=43) N(%) | (N=22) N(%) | (N=43) N(%) | (N=34) N(%) | (N=43) N(%) | (N=22) N(%) | (N=43) N(%) | (N=34) N(%) | (N=43) N(%) | (N=22) N(%) | (N=43) N(%) | (N=34) N(%) |
| 自宅 | 8(18.6) | 3(13.6) | 6(14.0) | 1(2.9) | 7(16.3) | 1(4.5) | 7(16.3) | 0(0.0) | 11(25.6) | 5(22.7) | 7(16.3) | 1(2.9) |
| 音楽鑑賞 | 1(2.3) | 3(13.6) | 6(14.0) | 8(23.5) | 0(0.0) | 1(4.5) | 4(9.3) | 6(17.6) | 0(0.0) | 1(4.5) | 3(7.0) | 5(14.7) |
| 歌 | 0(0.0) | 1(4.5) | 0(0.0) | 2(5.9) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 2(5.9) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(2.9) |
| 楽器 | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 2(5.9) | 1(2.3) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(2.9) | 1(2.3) | 0(0.0) | 1(2.3) | 1(2.9) |
| ゲーム | 11(25.6) | 9(40.9) | 17(39.5) | 12(35.3) | 14(32.6) | 9(40.9) | 14(32.6) | 10(29.4) | 9(20.9) | 6(27.3) | 15(34.9) | 8(23.5) |
| DVD・ビデオ鑑賞 | 15(34.9) | 8(36.4) | 14(32.6) | 12(35.3) | 20(46.5) | 9(40.9) | 14(32.6) | 11(32.4) | 9(20.9) | 8(36.4) | 12(27.9) | 7(20.6) |
| テレビ | 8(18.6) | 7(31.8) | 14(32.6) | 14(41.2) | 8(18.6) | 6(27.3) | 9(20.9) | 8(23.5) | 2(4.7) | 6(27.3) | 10(23.3) | 5(14.7) |
| 玩具 | 8(18.6) | 0(0.0) | 5(11.6) | 1(2.9) | 6(14.0) | 0(0.0) | 2(4.7) | 1(2.9) | 4(9.3) | 0(0.0) | 3(7.0) | 1(2.9) |
| 工作・手芸 | 1(2.3) | 1(4.5) | 2(4.7) | 1(2.9) | 1(2.3) | 2(9.1) | 3(7.0) | 1(2.9) | 1(2.3) | 1(4.5) | 2(4.7) | 1(2.9) |
| 絵を描く | 4(9.3) | 1(4.5) | 3(7.0) | 2(5.9) | 4(9.3) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(2.9) | 3(7.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(2.9) |
| 読書 | 4(9.3) | 3(13.6) | 4(9.3) | 7(20.6) | 0(0.0) | 2(9.1) | 2(4.7) | 3(8.8) | 1(2.3) | 2(9.1) | 3(7.0) | 3(8.8) |
| 字を書く | 1(2.3) | 0(0.0) | 0(0.0) | 2(5.9) | 1(2.3) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(2.9) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(2.9) |
| パソコン | 2(4.7) | 2(9.1) | 7(16.3) | 9(26.5) | 3(7.0) | 1(4.5) | 5(11.6) | 6(17.6) | 3(7.0) | 2(9.1) | 5(11.6) | 6(17.6) |
| のんびり | 2(4.7) | 2(9.1) | 4(9.3) | 2(5.9) | 1(2.3) | 1(4.5) | 2(4.7) | 4(11.8) | 1(2.3) | 0(0.0) | 3(7.0) | 2(5.9) |
| こだわり | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(2.9) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(2.9) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) |
| 家事 | 1(2.3) | 1(4.5) | 4(9.3) | 2(5.9) | 2(4.7) | 0(0.0) | 2(4.7) | 1(2.9) | 2(4.7) | 1(4.5) | 3(7.0) | 0(0.0) |
| 外出 | 9(20.9) | 4(18.2) | 7(16.3) | 4(11.8) | 35(81.4) | 16(72.7) | 27(62.8) | 21(61.8) | 23(53.5) | 10(45.5) | 19(44.2) | 19(55.9) |
| 携帯 | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(2.3) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) |
| 会話 | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(2.9) |
| 友達 | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 2(4.7) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(2.3) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) |
| 親戚 | 0(0.0) | 1(4.5) | 0(0.0) | 0(0.0) | 2(4.7) | 0(0.0) | 2(4.7) | 0(0.0) | 10(23.3) | 2(9.1) | 3(7.0) | 6(17.6) |
| 運動 | 4(9.3) | 1(4.5) | 4(9.3) | 0(0.0) | 3(7.0) | 3(13.6) | 2(4.7) | 4(11.8) | 2(4.7) | 0(0.0) | 2(4.7) | 2(5.9) |
| 娯楽施設 | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 2(5.9) | 1(2.3) | 2(9.1) | 2(4.7) | 8(23.5) | 1(2.3) | 1(4.5) | 3(7.0) | 8(23.5) |
| 公共施設 | 2(4.7) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(2.3) | 1(4.5) | 1(2.3) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 2(4.7) | 0(0.0) |
| 電車 | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(2.3) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(2.3) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(2.3) | 0(0.0) |
| 習い事・放課後活動 | 1(2.3) | 0(0.0) | 1(2.3) | 0(0.0) | 1(2.3) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(2.3) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) |
| 福祉関係 | 22(51.2) | 6(27.3) | 6(14.0) | 0(0.0) | 3(7.0) | 0(0.0) | 2(4.7) | 4(11.8) | 24(55.8) | 6(27.3) | 6(14.0) | 1(2.9) |
| 言語療法の勉強 | 0(0.0) | 1(4.5) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(4.5) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(4.5) | 0(0.0) | 0(0.0) |
| 旅行 | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 4(9.3) | 2(9.1) | 7(16.3) | 7(20.6) |
| その他 | 6(14.0) | 3(13.6) | 5(11.6) | 1(2.9) | 2(4.7) | 0(0.0) | 3(7.0) | 1(2.9) | 7(16.3) | 1(4.5) | 8(18.6) | 5(14.7) |
| 回答なし | 1(2.3) | 0(0.0) | 1(2.3) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(2.3) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(4.5) | 1(2.3) | 0(0.0) |

暇では「外出」が、小学生群23名(53.5%)、中学生群10名(45.5%)、高校生群19名(44.2%)、OB群19名(55.4%)であり、次いで「ゲーム」が、小学生群9名(20.9%)、中学生群6名(27.3%)、高校生群15名(34.9%)、OB群8名(23.5%)、「福祉関係」が、小学生群24名(55.8%)、中学生群6名(27.3%)、高校生群6名(14.0%)、OB群1名(2.9%)であった。

4) 一緒に過ごす相手

一緒に過ごす相手の回答をTable 5に示す。

「母親」の回答が、平日では小学生群38名

(88.4%)、中学生群18名(81.8%)、高校生群38名(88.4%)、OB群25名(73.5%)、休日では小学生群38名(88.4%)、中学生群21名(95.5%)、高校生群38名(88.4%)、OB群25名(73.5%)、長期休暇では小学生群38名(88.4%)、中学生群20名(90.9%)、高校生群40名(93.0%)、OB群27名(79.4%)と全ての時期で最も多く見られた。

5) 近所の人・友人との交流

「全く遊ばない」の回答が、平日では小学生群26名(60.5%)、中学生群18名(81.8%)、高校生群36名(83.7%)、OB群30名(88.2%)であり、

Table 5 一緒に過ごす相手

| | 平日 | | | | 休日 | | | | 長期休暇 | | | |
|--------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 小学生群 | 中学生群 | 高校生群 | OB群 | 小学生群 | 中学生群 | 高校生群 | OB群 | 小学生群 | 中学生群 | 高校生群 | OB群 |
| | (N=43) N(%) | (N=22) N(%) | (N=43) N(%) | (N=34) N(%) | (N=43) N(%) | (N=22) N(%) | (N=43) N(%) | (N=34) N(%) | (N=43) N(%) | (N=22) N(%) | (N=43) N(%) | (N=34) N(%) |
| 祖父母 | 1(2.3) | 5(22.7) | 4(9.3) | 0(0.0) | 3(7.0) | 6(27.3) | 4(9.3) | 1(2.9) | 5(11.6) | 5(22.7) | 4(9.3) | 1(2.9) |
| 父親 | 7(16.3) | 7(31.8) | 7(16.3) | 9(26.5) | 20(46.5) | 9(40.9) | 17(39.5) | 12(35.3) | 12(27.9) | 7(31.8) | 12(27.9) | 18(52.9) |
| 母親 | 38(88.4) | 18(81.8) | 38(88.4) | 25(73.5) | 38(88.4) | 21(95.5) | 38(88.4) | 25(73.5) | 38(88.4) | 20(90.9) | 40(93.0) | 27(79.4) |
| 兄弟・姉妹 | 6(14.0) | 3(13.6) | 8(18.6) | 4(11.8) | 7(16.3) | 3(13.6) | 8(18.6) | 4(11.8) | 8(18.6) | 3(13.6) | 10(23.3) | 7(20.6) |
| ボランティア | 3(7.0) | 0(0.0) | 1(2.3) | 0(0.0) | 1(2.3) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(2.9) | 5(11.6) | 3(13.6) | 0(0.0) | 0(0.0) |
| その他 | 6(14.0) | 6(27.3) | 6(14.0) | 5(14.7) | 1(2.3) | 0(0.0) | 2(4.7) | 4(11.8) | 8(18.6) | 2(9.1) | 3(7.0) | 2(5.9) |
| 回答なし | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) |

※複数回答可

休日では小学生群30名 (69.8%), 中学生群19名 (86.4%), 高校生群39名 (90.7%), OB群28名 (82.4%), 長期休暇では小学生群25名 (58.1%), 中学生群19名 (86.4%), 高校生群35名 (81.4%), OB群30名 (88.2%) と全ての時期で最も多く見られた。

6) 満足度

「満足している」が、平日では小学生群28名 (65.1%), 中学生群14名 (63.6%), 高校生群22名 (51.2%), OB群23名 (67.6%), 休日では小学生群29名 (67.4%), 中学生群15名 (68.2%), 高校生群21名 (48.8%), OB群17名 (50.0%), 長期休暇では小学生群23名 (53.5%), 中学生群13名 (59.1%), 高校生群16名 (37.2%), OB群18名 (52.9%) と全ての時期で最も多く見られた。また、子どもについて「楽しそうにしている」が、平日では小学生群29名 (67.4%), 中学生群16名 (72.7%), 高校生群24名 (55.8%), OB群21名 (61.8%), 休日では小学生群31名 (72.1%), 中学生群17名 (77.3%), 高校生群25名 (58.1%), OB群19名 (55.9%), 長期休暇では小学生群29名 (67.4%), 中学生群17名 (77.3%), 高校生群17名 (39.5%), OB群 (58.8%) と全ての時期で最も多く見られた。

7) 困っている内容

「困っている」「(子どもが) つまらなそうにしている」と回答した中で、平日では「いつも同じことをしている」の回答が、小学生群4名 (44.4%), 中学生群3名 (42.9%), 高校生群7名 (38.9%), OB群5名 (55.6%) と最も多く見られた。また、「親の負担」の回答が、休日では小学生群4名 (33.3%), 中学生群3名 (42.9%), 高校生群 (28.6%), OB群4名 (28.6%) であり、長期休暇では小学生群6名 (37.5%), 中学生群6名 (66.7%), 高校生群8名 (33.3%), OB群7名 (50.0%) と最も多く見られた。

4. 保護者負担

1) 就業の有無

「就業している」が76名 (44.7%), 「就業して

いない」が93名 (54.7%), 「回答なし」1名 (0.6%) であった。

2) 養育負担

「負担を感じている」では、小学生群28名 (65.1%), 中学生群14名 (63.6%), 高校生群30名, OB群20名 (58.8%) であり、「負担を感じていない」では、小学生群15名 (34.9%), 中学生群8名 (36.4%), 高校生群13名 (30.2%), OB群14名 (41.2%) であった。

3) 負担の内容 (「負担を感じている」と回答した回答者全体における上位4件)

「負担を感じている」と回答した中で、「将来への不安」が、小学生群20名 (71.4%), 中学生群10名 (71.4%), 高校生群27名 (90.0%), OB群15名 (75.0%) であった。また、「障がいによる困難」では、小学生群16名 (57.1%), 中学生群4名 (28.6%), 高校生群18名 (60.0%), OB群11名 (55.0%) であり、「付添の問題」では、小学生群15名 (53.6%), 中学生群6名 (42.9%), 高校生群13名 (43.3%), OB群10名 (50.0%), 「子どもの日常介助」では、小学生群20名 (71.4%), 中学生群6名 (42.9%), 高校生群10名 (33.3%), OB群8名 (40.0%) の回答が多く見られた。

5. 余暇支援のニーズ

1) 場所

「福祉関係の施設」の回答が、平日では小学生群40名 (93.0%), 中学生群18名 (81.8%), 高校生群28名 (65.1%), OB群14名 (41.2%) であった。また、休日では小学生群29名 (67.4%), 中学生群15名 (68.2%), 高校生群27名 (62.8%), OB群18名 (52.9%), 長期休暇では小学生群39名 (90.7%), 中学生群19名 (86.4%), 高校生群27名 (62.8%), OB群17名 (50.0%) と最も多く見られた。

2) 一緒に過ごす相手

「ガイドヘルパー・ボランティア」の回答が、平日では小学生群35名 (81.4%), 中学生群15名 (68.2%), 高校生群25名 (58.1%), OB群14名 (41.2%) であり、休日では小学生群27名 (62.8%),

中学生群 (62.8%), 高校生群26名 (60.5%), OB群24名 (70.6%), 長期休暇では小学生群31名 (72.1%), 中学生群17名 (77.3%), 高校生群26名 (60.5%), OB群19名 (55.9%) と全ての時期で最も多く見られた。

3) 希望する活動の集団規模

「2～4人程度」の回答が、平日では小学生群17名 (39.5%), 中学生群14名 (63.6%), 高校生群24名 (55.8%), OB群12名 (35.3%) であり、休日では小学生群21名 (48.8%), 中学生群16名 (72.7%), 高校生群28名 (65.1%), OB群15名 (44.1%), 長期休暇では小学生群18名 (41.9%), 中学生群16名 (72.7%), 高校生群28名 (65.1%), OB群16名 (47.1%) と全ての時期で最も多く見られた。

4) 希望する活動内容

「スポーツ活動」の回答が、平日では小学生群35名 (81.4%), 中学生群16名 (72.7%), 高校生群23名 (53.5%), OB群17名 (50.0%) であり、休日では小学生群30名 (69.8%), 中学生群18名 (81.8%), 高校生群25名 (58.1%), OB群19名 (55.9%) と最も多く見られた。長期休暇では「娯楽活動」の回答が、小学生群22名 (51.2%), 中学生群13名 (59.1%), 高校生群28名 (65.1%), OB群23名 (67.6%) と最も多く見られた。

5) 希望する援助内容

「送迎」の回答が、平日では小学生群36名 (83.7%), 中学生群14名 (63.6%), 高校生群29名 (67.4%), OB群17名 (50.0%) であり、休日では小学生群26名 (60.5%), 中学生群14名 (63.6%), 高校生群30名 (69.8%), OB群22名 (64.7%), 長期休暇では小学生群32名 (74.4%), 中学生群15名 (68.2%), 高校生群29名 (67.4%), OB群20名 (58.8%) と全ての時期で最も多く見られた。

6. 満足群と困り群の比較

全ての時期において「満足している」「大変満足している」「楽しそうにしている」「大変楽しそうにしている」と回答している小学生群21名 (48.8%), 中学生群11名 (50.0%), 高校生群16名 (37.2%), OB群17名 (50.0%) を満足群とし、全ての時期において「困っている」「大変困っている」「つまらなそうにしている」「大変つまらなそうにしている」と回答している小学生群1名 (2.3%), 中学生群1名 (4.5%), 高校生群8名 (18.6%), OB群7名 (20.6%) を困り群として抽出し、比較検討した。

1) 療育手帳の等級

等級「A」の回答において、満足群では小学生群15名 (71.4%), 中学生群9名 (81.8%), 高校生群6名 (75.0%), OB群6名 (85.7%) であったのに対し、困り群では小学生群1名 (100.0%), 中学生群1名 (100.0%), 高校生群5名 (83.3%), OB群6名 (85.7%) であった。

2) 養育負担

養育負担の比較をTable 6に示す。「負担を感じている」の回答が、満足群では小学生群9名 (42.9%), 中学生群6名 (54.5%), 高校生群8名 (100.0%), OB群7名 (100.0%) であったのに対し、困り群では小学生群1名 (100.0%), 中学生群1名 (100.0%), 高校生群8名 (100.0%), OB群5名 (83.3%) であった。

3) 希望する場所

希望する場所の比較をTable 7に示す。

「福祉関係の施設」の回答について、満足群における平日では、小学生群18名 (85.7%), 中学生群9名 (81.8%), 高校生群6名 (37.5%), OB群6名 (35.3%) であり、休日では、小学生群11名 (52.4%), 中学生群7名 (63.6%), 高校生群

Table 6 養育負担の比較

| | 小学生群 | | 中学生群 | | 高校生群 | | OB群 | |
|-----------|-----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|
| | 満足群 (N=21) N(%) | 困り群 (N=1) N(%) | 満足群 (N=11) N(%) | 困り群 (N=1) N(%) | 満足群 (N=16) N(%) | 困り群 (N=8) N(%) | 満足群 (N=17) N(%) | 困り群 (N=7) N(%) |
| 負担を感じている | 9(42.9) | 1(100.0) | 6(54.5) | 1(100.0) | 8(50.0) | 8(100.0) | 7(41.2) | 5(83.3) |
| 負担を感じていない | 12(57.1) | 0(0.0) | 5(45.5) | 0(0.0) | 8(50.0) | 0(0.0) | 10(58.8) | 2(28.6) |

5名(31.3%), OB群6名(35.3%), 長期休暇では,小学生群18名(85.7%),中学生群9名(81.8%),高校生群9名(56.3%), OB群4名(23.5%)であった。困り群における平日では,小学生群1名(100.0%),中学生群1名(100.0%),高校生群7名(87.5%), OB群3名(42.9%)であり,休日では,小学生群1名(100.0%),中学生群1名(100.0%),高校生群6名(75.0%), OB群4名(57.1%),長期休暇では,小学生群1名(100.0%),中学生群1名(100.0%),高校生群6名(75.0%), OB群5名(71.4%)であった。また,「自宅」の回答について,満足群では平日で,小学生群10名(47.6%),中学生群6名(54.5%),高校生群11名(68.8%), OB群11名(64.7%)であり,休日で,小学生群15名(71.4%),中学生群9名(81.8%),高校生群13名(81.3%), OB群9名(52.9%),長期休暇で,小学生群11名(52.4%),中学生群10名(90.9%),高校生群12名(75.0%), OB群9名(52.9%)であった。また,困り群では平日で,小学生群0名(0.0%),中学生群0名(0.0%),高校生群1名(12.5%), OB群0名(0.0%),休日で,小学生群0名(0.0%),中学生群1名(100.0%),

高校生群1名(12.5%), OB群0名(0.0%),長期休暇で,小学生群0名(0.0%),中学生群1名(100.0%),高校生群1名(12.5%), OB群1名(14.3%)であった。

4) 希望する相手

希望する相手の比較をTable 8に示す。

「ガイドヘルパー・ボランティア」の回答について,満足群では平日で,小学生群16名(76.2%),中学生群7名(63.6%),高校生群6名(37.5%), OB群4名(23.5%),休日で,小学生群11名(52.4%),中学生群8名(72.7%),高校生群6名(37.5%), OB群9名(52.9%),長期休暇で,小学生群13名(61.9%),中学生群9名(81.8%),高校生群7名(43.8%), OB群6名(35.3%)であった。これに対し,困り群では平日で,小学生群0名(0.0%),中学生群0名(0.0%),高校生群6名(75.0%), OB群5名(71.4%),休日で,小学生群0名(0.0%),中学生群0名(0.0%),高校生群6名(75.0%), OB群6名(85.7%),長期休暇で,小学生群0名(0.0%),中学生群0名(0.0%),高校生群6名(75.0%), OB群5名(71.4%)であった。また,「家族」の回答が,満足群では平日で,

Table 7 希望する場所の比較

| | 小学生群 | | 中学生群 | | 高校生群 | | OB群 | |
|---------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|
| | 満足群 (N=21) N(%) | 困り群 (N=1) N(%) | 満足群 (N=11) N(%) | 困り群 (N=1) N(%) | 満足群 (N=16) N(%) | 困り群 (N=8) N(%) | 満足群 (N=17) N(%) | 困り群 (N=7) N(%) |
| 【平日】 | | | | | | | | |
| 福祉関係の施設 | 18(85.7) | 1(100.0) | 9(81.8) | 1(100.0) | 6(37.5) | 7(87.5) | 6(35.3) | 3(42.9) |
| 学校 | 4(19.0) | 0(0.0) | 2(18.2) | 0(0.0) | 3(18.8) | 1(12.5) | 0(0.0) | 1(14.3) |
| 近所の公共施設 | 6(28.6) | 0(0.0) | 1(9.1) | 0(0.0) | 3(18.8) | 1(12.5) | 4(23.5) | 3(42.9) |
| 自宅 | 10(47.6) | 0(0.0) | 6(54.5) | 0(0.0) | 11(68.8) | 1(12.5) | 11(64.7) | 0(0.0) |
| その他 | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(9.1) | 1(100.0) | 3(18.8) | 1(12.5) | 2(11.8) | 1(14.3) |
| 回答なし | 1(4.8) | 0(0.0) | 1(9.1) | 0(0.0) | 1(6.3) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) |
| 【休日】 | | | | | | | | |
| 福祉関係の施設 | 11(52.4) | 1(100.0) | 7(63.6) | 1(100.0) | 5(31.3) | 6(75.0) | 6(35.3) | 4(57.1) |
| 学校 | 1(4.8) | 0(0.0) | 1(9.1) | 0(0.0) | 2(12.5) | 1(12.5) | 0(0.0) | 0(0.0) |
| 近所の公共施設 | 4(19.0) | 0(0.0) | 3(27.3) | 0(0.0) | 4(25.0) | 2(25.0) | 5(29.4) | 5(71.4) |
| 自宅 | 15(71.4) | 0(0.0) | 9(81.8) | 1(100.0) | 13(81.3) | 1(12.5) | 9(52.9) | 0(0.0) |
| その他 | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(9.1) | 0(0.0) | 1(6.3) | 1(12.5) | 4(23.5) | 1(14.3) |
| 回答なし | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(9.1) | 0(0.0) | 1(6.3) | 0(0.0) | 1(5.9) | 0(0.0) |
| 【長期休暇】 | | | | | | | | |
| 福祉関係の施設 | 18(85.7) | 1(100.0) | 9(81.8) | 1(100.0) | 9(56.3) | 6(75.0) | 4(23.5) | 5(71.4) |
| 学校 | 2(9.5) | 0(0.0) | 1(9.1) | 0(0.0) | 4(25.0) | 2(25.0) | 0(0.0) | 1(14.3) |
| 近所の公共施設 | 4(19.0) | 0(0.0) | 3(27.3) | 0(0.0) | 4(25.0) | 2(25.0) | 4(23.5) | 5(71.4) |
| 自宅 | 11(52.4) | 0(0.0) | 10(90.9) | 1(100.0) | 12(75.0) | 1(12.5) | 9(52.9) | 1(14.3) |
| その他 | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(100.0) | 1(6.3) | 2(25.0) | 5(29.4) | 1(14.3) |
| 回答なし | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(9.1) | 0(0.0) | 1(6.3) | 0(0.0) | 1(5.9) | 0(0.0) |

Table 8 希望する相手の比較

| | 小学生群 | | 中学生群 | | 高校生群 | | OB群 | |
|----------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|
| | 満足群 (N=21) N(%) | 困り群 (N=1) N(%) | 満足群 (N=11) N(%) | 困り群 (N=1) N(%) | 満足群 (N=16) N(%) | 困り群 (N=8) N(%) | 満足群 (N=17) N(%) | 困り群 (N=7) N(%) |
| 【平日】 | | | | | | | | |
| ガイドヘルパー・ボランティア | 16(76.2) | 0(0.0) | 7(63.6) | 0(0.0) | 6(37.5) | 6(75.0) | 4(23.5) | 5(71.4) |
| 友達 | 6(28.6) | 0(0.0) | 3(27.3) | 0(0.0) | 6(37.5) | 1(12.5) | 1(5.9) | 1(14.3) |
| 家族 | 10(47.6) | 0(0.0) | 5(45.5) | 0(0.0) | 9(56.3) | 2(25.0) | 10(58.8) | 1(14.3) |
| その他 | 1(4.8) | 1(100.0) | 3(27.3) | 1(100.0) | 2(12.5) | 1(12.5) | 1(5.9) | 1(14.3) |
| 回答なし | 1(4.8) | 0(0.0) | 1(9.1) | 0(0.0) | 1(6.3) | 1(12.5) | 2(11.8) | 1(14.3) |
| 【休日】 | | | | | | | | |
| ガイドヘルパー・ボランティア | 11(52.4) | 0(0.0) | 8(72.7) | 0(0.0) | 6(37.5) | 6(75.0) | 9(52.9) | 6(85.7) |
| 友達 | 4(19.0) | 0(0.0) | 3(27.3) | 0(0.0) | 7(43.8) | 1(12.5) | 1(5.9) | 2(28.6) |
| 家族 | 14(66.7) | 0(0.0) | 8(72.7) | 1(100.0) | 10(62.5) | 3(37.5) | 9(52.9) | 0(0.0) |
| その他 | 0(0.0) | 1(100.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 1(12.5) | 2(11.8) | 1(14.3) |
| 回答なし | 1(4.8) | 0(0.0) | 1(9.1) | 0(0.0) | 1(6.3) | 1(12.5) | 1(5.9) | 0(0.0) |
| 【長期休暇】 | | | | | | | | |
| ガイドヘルパー・ボランティア | 13(61.9) | 0(0) | 9(81.8) | 0(0.0) | 7(43.8) | 6(75.0) | 6(35.3) | 5(71.4) |
| 友達 | 5(23.8) | 0(0) | 4(36.4) | 0(0.0) | 7(43.8) | 1(12.5) | 2(11.8) | 2(28.6) |
| 家族 | 11(52.4) | 0(0) | 10(90.9) | 1(100.0) | 10(62.5) | 3(37.5) | 12(70.6) | 1(14.3) |
| その他 | 1(4.8) | 1(100) | 0(0.0) | 1(100.0) | 0(0.0) | 1(12.5) | 0(0.0) | 1(14.3) |
| 回答なし | 2(9.5) | 0(0) | 1(9.1) | 0(0.0) | 1(6.3) | 1(12.5) | 1(5.9) | 0(0.0) |

小学生群10名(47.6%)、中学生群5名(45.5%)、高校生群9名(56.3%)、OB群10名(58.8%)、休日で、小学生群14名(66.7%)、中学生群8名(72.7%)、高校生群10名(62.5%)、OB群9名(52.9%)、長期休暇で、小学生群11名(52.4%)、中学生群10名(90.9%)、高校生群10名(62.5%)、OB群12名(70.6%)であった。これに対し、困り群では平日で、小学生群0名(0.0%)、中学生群0名(0.0%)、高校生群2名(25.0%)、OB群1名(14.3%)、休日で、小学生群0名(0.0%)、中学生群1名(100.0%)、高校生群3名(37.5%)、OB群0名(0.0%)、長期休暇で、小学生群0名(0.0%)、中学生群1名(100.0%)、高校生群3名(37.5%)、OB群1名(14.3%)であった。

IV 考察

1. 余暇の現状

余暇支援団体への参加について年齢群の比較から、年齢が上がるにつれ参加率が減少している傾向が見られた。さらに、平日の過ごし方の年齢群の比較から、年齢が上がるにつれ「福祉関係」が減少している傾向が見られた。このことから、OB群は余暇支援団体や福祉関係の団体に参加し

ている傾向が低いことが分かる。それに対し、在校生はOB群に比べて余暇支援団体や福祉関係のサービスを利用していることから、OB群には余暇支援団体や福祉関係の情報が少ないことや利用に結びつかない要因があることが推察される。清水(1998)は、就労生活を維持するために余暇活動や社会活動の保障にも取り組まなければならないと指摘している。また、武蔵・水内(2009)は、学校教育の段階から、卒業後の地域での生活を見通したグループ活動を育成することが重要であると指摘している。さらに、水内・熊田・松倉(2011)は、知的障害者の健康・運動の自己意識向上について、支援する人、場所が変わっても、維持・継続して取り組めるように、本人を中心としたオーダーメイドの支援を考えていく体制づくりを検討していく必要があると述べている。このことから、学校を卒業した知的障害者への余暇支援として、情報の提供を積極的に行い、OB群の余暇支援団体への参加を促進することや学校教育段階から社会に出たときの環境を見据えた指導をしていくことが求められているといえる。

また、主な趣味の内容は「ゲーム」「運動」「DVD・ビデオ鑑賞」ということが明らかとなった。しかし、余暇の過ごし方(Table 4)から、「ゲー

ム」「DVD・ビデオ鑑賞」は日常的に多く見られるが、「運動」は平日・休日・長期休暇において各年齢群で低い実施率であるという現状が見られた。このことから、知的障害児・者の主な趣味として「運動」があるものの、日常的に運動をする機会が少ないということがいえる。南條・仲野・富田（2004）は、スポーツが知的障害児・者の日常生活に良い影響を与えることを明らかにしている。また、赤司（1996）は、社会人になっても、学校在学中から好きであった集団スポーツをおこなえるOBスポーツクラブ活動は貴重な存在であり、参加者の生活の幅を広げ、労働意欲を喚起する機会になっていると報告している。このように、スポーツを通して知的障害者の余暇生活の幅が広がっていることが分かる。さらに、本研究では地域の人・友人との交流から全ての時期で「全く遊ばない」現状が明らかとなった。以上のことから、友人などと運動やスポーツといった身体を動かすことを通じて日常生活及び余暇を充実させていくことは知的障害児・者にとっての課題であるといえる。

また、回答者の満足度から「満足している」が全ての時期で半数を超える結果となった。これまでの先行研究からは、知的障害児・者の余暇活動に関して保護者が困っている現状が多く報告されてきた。本研究での結果は、知的障害児・者の余暇環境が少しずつ改善されてきた影響であると推察できる。第3期函館市障がい福祉計画（2012）では、障がい児支援施策の取組等について数値目標を設定している。見込み量が年々増加しているサービスも見られ、知的障害児・者にとって生活しやすい環境が整備されてきているといえる。しかし、「満足している」の回答者においても余暇の現状は先行研究と変わらず、活動の選択肢が少なく、保護者と過ごすことが多いというものであった。子どもの余暇について問題視していないのか、または特に不満が見られないのかについては今後更なる調査が必要であると考えられる。

2. 保護者負担

養育負担について「負担を感じている」が半数を超える結果となった。回答者の満足度では「満足している」が半数以上であったものの、保護者にとって日常的な負担は多く存在していることが明らかとなった。さらに負担内容から、主に「将来への不安」「障がいによる困難」「付添の問題」「子どもの日常介助」について負担であることが明らかとなった。このことから、保護者は親がいなくなったときの援助や障害に関する周りの理解を必要としているといえる。

また、療育手帳の等級の比較から、困り群では「A」の回答が半数以上見られた。そのため、現在余暇について「困っている」現状があり、支援を必要としているのは主に障害の程度が重い人々であると考えられる。さらに、養育負担の満足度での比較（Table 6）から、「負担を感じている」と回答した割合は困り群でおよそ9割を示していることが明らかとなった。そのため、余暇の現状に満足していない保護者は、日常的な養育負担も抱えていることがわかる。このことから、日常生活に合わせた継続的な保護者への支援が求められているといえる。

3. 余暇支援のニーズ

希望する場所（Table 7）では、平日・長期休暇で「福祉関係の施設」、休日で「自宅」の回答が最も多いことが明らかとなった。放課後等デイサービスなどの親以外の人とかかわりのある活動や、自宅で家族と過ごすなどの休日に安心して参加できる場所を求めていることがわかる。満足群では「自宅」、困り群では「福祉関係の施設」の回答が多く見られた。また、希望する相手（Table 8）は満足群では「家族」、困り群では「ガイドヘルパー・ボランティア」の回答が多く見られていた。満足群の中には「現在は家族と過ごすことで満足しているが、親がいなくなった後が心配」という記述が挙げられているため、家族と過ごす余暇だけでなく、一人でできる余暇活動や地域の施設で過ごす余暇について考えていく必要があ

る。困り群でも同様に、親の負担を軽減できる余暇活動を教えていくことで「自宅」での余暇も充実していくと推測される。

V 総合考察

本研究は知的障害児・者の余暇の現状と保護者の負担及び余暇支援におけるニーズを明らかにすることを目的とした。その結果、余暇に関する満足度が高い傾向が見られた。しかし、知的障害児・者にとって日常的に運動をする機会が少ないという課題が明らかとなった。また、地域との交流が乏しく、家族で過ごすことが多い現状も見られた。さらに、社会人における余暇生活のリズムが確立されていないことや余暇支援が乏しくなっている傾向が見られた。

また、保護者の負担においては、親がいなくなったときの援助など将来に関する悩みが多く見られた。さらに、余暇に対する満足度が低い回答者は日常的な養育負担も大きく、回答者全体の満足度が高い一方で、負担を抱えている保護者が存在し、二極化している傾向が見られた。

これらのことから、知的障害児・者の余暇生活においては、地域と交流し、親から自立した生活を送ることで日々の充実に繋がるといえる。そのような余暇生活を実現するためには、余暇活動における地域の理解や親の負担を軽減できる余暇活動を教えていく必要性が示唆される。

文献

- 1) 赤司伸吾 (1996) 一般就労している知的障害者の余暇活動－神奈川県におけるOBスポーツクラブの取り組み－. 職業リハビリテーション, 9, 87-91.
- 2) 函館市 (2012) 第3期函館市障がい福祉計画.
- 3) 畠山富士雄・中村寛志・久野建夫 (2012) 附属特別支援学校小学部の土曜日キッズサッカーの試み (I). 佐賀大学教育実践研究, 28, 127-144.
- 4) 服部伸一 (2002) 知的障害者と地域生活－余暇活動への支援を中心に－. 余暇学研究, (5), 66-73.
- 5) 北海道庁 (2013) 第2期北海道障がい者基本計画.
- 6) 細谷一博 (2007) 知的障害児・者の居住形態からみ

- た余暇活動の実態と余暇活動支援機関の機能－青少年の休日を楽しむ会の実践を通して－. 発達障害支援システム学研究, 7(1), 1-7.
- 7) 細谷一博 (2011) 長期休業中における知的障害児の余暇実態と保護者ニーズに関する調査研究. 発達障害支援システム学研究, 10(1), 11-17.
- 8) 稲浪正充・小椋たみ子・Rodgers, C.・西信高 (1994) 障害児を育てる親のストレスについて. 特殊教育学研究, 32(2), 11-21.
- 9) 厚生労働省 (2005) 知的障害児 (者) 基礎調査結果の概要.
- 10) 丸山啓史 (2004) 重度知的障害者の余暇保障に関する一考察. 生涯学習・社会教育学研究, 29, 63-71.
- 11) 南出好史・海塚敏郎・渡部信一 (1999) 地域社会に生きる障害児の余暇の使い方に関する研究. マツダ財団研究報告書, 青少年育成関係, 12, 1-13.
- 12) 水内豊和・熊田美和・松倉可奈 (2011) 知的障害者に対する健康・運動についての自己意識向上に関する実践研究. 富山大学人間発達科学研究実践総合センター紀要, 5, 85-90.
- 13) 武蔵博文・水内豊和 (2009) 知的障害者の地域参加と余暇活用に関する調査研究. 富山大学人間発達科学部紀要, 3(2), 55-61.
- 14) 武蔵博文・高畑庄蔵・平野道子・安達勇作 (1997) 知的障害者の家庭生活に関する基礎研究. 富山大学教育研究紀要A, 文科系, 49, 43-50.
- 15) 内閣府 (2013) 障害者基本法.
- 16) 南條正人・仲野隆士・富田恵子 (2004) 知的障害児・者の生活の質 (QOL) に及ぼすスポーツ・レクリエーション活動の影響. 仙台大学大学院スポーツ科学科研究論文集, 5, 169-176.
- 17) 日本知的障害福祉連盟 (2001) 発達障害白書. 日本文化科学社.
- 18) 於保真理 (2004) 10代の知的障害児の余暇活動に関する研究－172人の親からのアンケート調査を中心に－. 湘北紀要, 25, 15-21.
- 19) Schalock, R.L.・岩崎正子 (2000) クオリティ・オブ・ライフ (QOL)－その概念化, 測定, 適用－. 発達障害研究, 24(2), 106-120.
- 20) 清水貞夫 (1998) 地域づくりと養護学校教育の課題. 発達障害研究, 20(3), 21-30.
- 21) 鈴木庸裕 (2005) 特別なニーズを持つ子どもの地域生活支援をめぐる課題. 障害者問題研究, 32(4), 301-308.
- 22) 津止正敏・立田幸代子 (2005) 障害児・家族の生活実態と地域生活支援. 障害者問題研究, 32(4), 285-292.
- 23) 渡辺徹 (1983) 精神遅滞者の余暇－実態調査からみた余暇状況とその問題－. 宮城教育大学紀要第2分冊,

自然科学・教育科学, 18, 131-147.

- 24) 吉松靖文 (1997) 自閉性障害児者の余暇活動に関する研究. 愛媛大学教育学部障害児教育研究室研究紀要, 21, 105-108.
- 25) 由谷るみ子・渡部匡隆 (2007) 知的障害養護学校における夏季休業中の余暇支援に関する検討. 特殊教育研究, 45(4), 195-203.

謝 辞

本研究を実施するにあたり, アンケートにご協力くださったH大学附属特別支援学校, A養護学校の保護者の皆様, 並びに先生方に厚く御礼申し上げます。

(鈴木 洸平 函館校大学院生)

(細谷 一博 函館校准教授)